

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路 一般国道253号 八箇峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県十日町市八箇 至：新潟県南魚沼市余川	延長	9.7 km		
事業概要					
<p>一般国道253号八箇峠道路は、地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を形成し、通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消、南魚沼生活圏の地域の活性化の支援・一体的な圏域形成、地域振興の支援などを目的とした延長9.7kmの直轄権限代行による道路事業である。</p>					
H12年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H13年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	約463億円	事業進捗率	60%	供用済延長	0.0km
地域の防災面の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・線形不良区間及び急勾配区間により旅行速度の低下が著しく、特に大型車の速度低下傾向となっている。 ・連続雨量80mmで通行止めとなる区間や、冬期間においては雪崩による通行止めが発生（平成23年7月新潟・福島豪雨より約224時間の全面通行止め、さらに災害復旧等に伴う約3210時間の片側交互通行規制が発生）。 ・通行止めの影響が大きく抜本的な対策が求められており、十日町市、南魚沼市からも要望がだされているなど地域の喫緊の課題となっている。 					
課題を踏まえた対策・事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・現道は急峻な地形にあり、全線での現道対策は大規模な改築工事が必要となる等、課題が多いため、9.7kmの別線を整備することにより課題箇所を回避。 					
事業の効果等			費用（残事業）/（事業全体）		
<p>①災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (208億円（残事業＝208億円）)</p> <p>②災害等による通行止め等の影響を回避</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雨等による土砂崩れや雨量規制等に伴う通行止めや片側交互通行規制による影響を回避 ・更に落雪や除雪作業に伴う通行止めや片側交互通行規制による影響を回避 <p>③第三次医療機関へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次医療施設（魚沼基幹病院）の60分圏カバー人口が約2,300人増加。 <p>④冬期間におけるスムーズな交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道区間には線形不良区間および急勾配区間が解消されるとともに、雪庇除去に伴う片側交互通行規制を回避 			<p>135/479億円</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>事業費：124/468億円</p> <p>維持管理費：11/11億円</p> </div>		
関係する地方公共団体等の意見					
<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>十日町市や南魚沼市など2市2町等で構成される上越魚沼地域振興快速道路「十日町・六日町間」整備推進連絡協議会より要望を受けている。</p>					
知事の意見：					
<p>地域住民の安全・安心の確保や地域の振興のため、事業を継続する必要がある。</p> <p>ただし、過去に発生した災害を踏まえて事業の優先順位を考える必要がある。</p> <p>また今後は、国土軸の構築が重要であることから、都市間ネットワークの形成も考慮して優先順位を判断すべきである。</p> <p>なお、都市内の交通混雑の緩和については、TDMの活用の可能性など、総合的な観点からも考えるべきである。</p>					
事業評価監視委員会の意見					

対応方針については、北陸地方整備局原案を妥当と判断するが、今後は以下について検討頂きたい。

- ・ 防災面を含む多様な効果が期待されるため事業継続が妥当と判断しているが、将来的には、これら効果を客観的に評価できるようにしていくべき。事業者の裁量によるところが大きくなる恐れがある。
- ・ 事業化ということで区間毎に評価しなければならないことも理解できるが、ネットワークということを考え、全体を取り込んで（フルネット）評価することも検討すべき。

事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等

- ・ 地域医療の高度化に向けて第三次救急医療施設「魚沼基幹病院」のH27年開院が予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 平成12年度に工事着手して、事業進捗率60%、そのうち用地進捗率73%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・ 八箇IC（仮称）～野田IC（仮称）の約6.6kmについては、平成29年度開通に向け事業を推進するとともに、引き続き残りの事業区間についても事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 切土及びトンネル掘削残土を事業区間内で使用するなどコスト縮減に努めている。
- ・ また施工にあたっては新技術の活用により、コスト縮減に努めていく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性に変化なく、防災面の効果が見込まれるため。

事業概要図



※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。